

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
会長 浦田日出雄  
事務局長 齋藤 昇一  
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>  
印刷所 (株) 北海プリント  
TEL (011)811-2396

## 第25回 読書感想画中央コンクール・ 第1回 全道コンクール審査終了

今年度から開催されることになった読書感想画全道コンクールの審査が1月11日(土)毎日新聞社北海道支社で行われました。応募作品は348点、小学校低学年・小学校高学年・中学校・高等学校の4部門それぞれから最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞、学校種別に学校賞が選ばれました。

### 最優秀賞



『なくならないけいと』 札幌市立本郷小学校1年  
アナベルとふしぎなけいと  
(マック・バーネット・文/ジョン・クラッセン・絵) 小山 倫輝



『輝く日記』 札幌市立青葉小学校6年  
嵐にいななく (L.S.マッシューズ・作) 吉田 紘子



『どろ焼』  
小樽市立銭函中学校2年  
岡 村 菜々香  
あん(ドリアン助川・著)



『夜明けの会合』  
札幌聖心女子学院高等学校1年  
木 戸 る り  
ゴッドハンガーの森 (ティック・キングIIスミス・著)

# 第25回読書感想画中央コンクール・第1回全道コンクールの審査を終えて

北海道学校図書館協会 会長 浦田 日出雄

「第25回読書感想画中央コンクール・第1回全道コンクール」の審査会が1月11日(土)毎日新聞社北海道支社で開催され、最優秀賞をはじめ各賞が決定しました。このコンクールは、全国（山口県、九州地区8県を除く）で実施され、25回目を迎えますが、北海道は、今年度初めて参加することになりました。

全道各地に児童生徒の皆さんから、どのような作品が寄せられてくるのか、大変楽しみにしていました。読書を通して、感動したことをイメージ豊かに感想画に表現された作品が多く寄せられました。ご指導いただきました各校の指導者の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。また、審査に当たっては、北海道造形教育連盟の皆様にご協力をいただきましたことに、お礼申し上げます。

来年度は、本コンクールのPRを更に工夫し、全道各地へ発信していきたいと考えています。更に多くの児童生徒の皆様から作品が寄せられることを期待しています。

本コンクールを支えていただきました関係する皆様に心より感謝申し上げます。

## 最優秀賞・優秀賞・優良賞 受賞者一覧

### 《最優秀賞》

|            |           |    |         |
|------------|-----------|----|---------|
| ※なくなるはいけいと | 札幌市立本郷小学校 | 1年 | 小 山 倫 輝 |
| ※輝く日記      | 札幌市立青葉小学校 | 6年 | 吉 田 紘 子 |
| ※どら焼       | 小樽市立銭函中学校 | 2年 | 岡 村 菜々香 |
| ※夜明けの会合    | 札幌聖心女子学院  | 1年 | 木 戸 る り |

### 《優秀賞》

|                  |            |    |         |
|------------------|------------|----|---------|
| ※ももたろう           | 函館市立本通小学校  | 1年 | 奥 田 陽   |
| ※にぎやかな写真館        | 札幌市立手稲東小学校 | 3年 | 北 守 香 音 |
| ※大すきなキティちゃんおべんとう | 函館市立高丘小学校  | 1年 | 井 上 佳 美 |
| まいちゃんの いえは なかよし  | 札幌市立福住小学校  | 1年 | 佐々木 美 祐 |
| だいすきのわ           | 札幌市立福住小学校  | 1年 | 坪 井 一 樹 |
| ※変われ北極、守れホッキョクグマ | 函館市立青柳小学校  | 5年 | 佐々木 綾 音 |
| ※大事なモノ           | 東川町立東川中学校  | 2年 | 高 村 花 織 |
| ※クラヤミルトキ         | 北海道南幌高等学校  | 1年 | 北 崎 夏 泉 |

### 《優良賞》

|                   |             |    |         |
|-------------------|-------------|----|---------|
| ふたりでなかよく しゃぼんだま   | 函館市立本通小学校   | 1年 | 荒 卷 心 愛 |
| かえるとおたまじゃくしがうたってる | 函館市立本通小学校   | 1年 | 横 山 玲 奈 |
| きつねの行ったしゃしんかん     | 石狩市立緑苑台小学校  | 2年 | 佐々木 珠 鈴 |
| おいしそうなロールケーキ      | 函館市立本通小学校   | 1年 | 三 上 鈴 奈 |
| みんなでジュース          | 函館市立本通小学校   | 2年 | 斉 藤 凜   |
| みんなともだち           | 札幌市立福住小学校   | 1年 | 治 田 英 陸 |
| ちゅん かきました         | 札幌市立福住小学校   | 1年 | 墓 田 いずみ |
| みんな みんな きれいなおうち   | 札幌市立福住小学校   | 1年 | 松 井 優 奈 |
| みんな ゆうくん だいすき!    | 札幌市立福住小学校   | 1年 | 紺 野 巧 真 |
| ※子どもたちのそうぞうの世界    | 札幌市立福住小学校   | 4年 | 後 藤 栞 奈 |
| ※小さな虹ができた         | 札幌市立美しが丘小学校 | 4年 | 櫻 井 咲 絢 |
| ※夢の中にあるヒント        | 釧路町立遠矢中学校   | 1年 | 田 中 海 月 |
| ※ほら、あすこにあるだろう。    | 千歳市立青葉中学校   | 3年 | 加 藤 美 穂 |
| ※河川敷と思い出          | 旭川明成高等学校    | 1年 | 河 井 明日香 |
| ※義足で走る            | 札幌聖心女子学院    | 2年 | 綾 野 優 子 |

### 《学校賞》

|         |                     |        |      |
|---------|---------------------|--------|------|
| ○小学校の部  | 札幌市立福住小学校・函館市立本通小学校 | ○中学校の部 | 該当なし |
| ○高等学校の部 | 札幌聖心女子学院            |        |      |

※=全国行き作品

## 奨励賞 受賞者一覧

### 奨励賞(小低)

|         |    |       |         |    |       |                |    |       |
|---------|----|-------|---------|----|-------|----------------|----|-------|
| 札幌市福住小  | 1年 | 岡本 煌  | 札幌市福住小  | 1年 | 新 ひなた | 札幌市本郷小         | 1年 | 山内 柚希 |
| 函館市青柳小  | 2年 | 五十嵐壮吾 | 札幌市福住小  | 1年 | 加藤絆奈乃 | 札幌市本郷小         | 1年 | 寺田 虎鉄 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 鹿野 美瞳 | 札幌市福住小  | 1年 | 山内 結音 | 札幌市本郷小         | 1年 | 菅原 悠真 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 日野澤陽羽 | 札幌市福住小  | 1年 | 平井 美咲 | 札幌市本郷小         | 1年 | 高林 駿多 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 日詰 碧  | 札幌市福住小  | 1年 | 三好 健斗 | 札幌市本郷小         | 1年 | 三浦 達也 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 草野 晴生 | 札幌市福住小  | 1年 | 福嶋 小晴 | 札幌市本郷小         | 1年 | 伊藤 拓真 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 小島 凜  | 札幌市福住小  | 1年 | 芳賀 睦実 | 札幌市本郷小         | 1年 | 金生 卓  |
| 函館市本通小  | 1年 | 照井彩三夏 | 札幌市福住小  | 1年 | 堀米 透羽 | 札幌市本郷小         | 1年 | 田中 魁人 |
| 函館市本通小  | 1年 | 下山 愛  | 札幌市福住小  | 1年 | 井上 結椛 | 札幌市本郷小         | 1年 | 丸山 愛華 |
| 函館市本通小  | 1年 | 熊地 咲乃 | 札幌市福住小  | 1年 | 多田 悠真 | 函館市本通小         | 1年 | 佐々木美尋 |
| 函館市本通小  | 1年 | 齋藤 大翔 | 札幌市福住小  | 1年 | 板東 佑愛 | 札幌市本郷小         | 1年 | 丸本 隼輝 |
| 函館市本通小  | 1年 | 高橋 心優 | 札幌市福住小  | 1年 | 遠藤 凜香 | 函館市本通小         | 1年 | 矢野 小春 |
| 函館市本通小  | 1年 | 真藤 咲良 | 札幌市福住小  | 1年 | 赤津 颯人 | 函館市本通小         | 1年 | 畠谷 怜  |
| 函館市本通小  | 1年 | 島谷 洸太 | 札幌市福住小  | 1年 | 赤坂 瑚夏 | 函館市本通小         | 1年 | 浪岡 昂輝 |
| 旭川市愛宕東小 | 1年 | 穴吹 倫士 | 札幌市福住小  | 1年 | 成田 陽真 | 函館市本通小         | 1年 | 井川 実咲 |
| 札幌市本郷小  | 1年 | 齋藤 孝太 | 札幌市福住小  | 1年 | 齋藤 晴  | 函館市本通小         | 1年 | 中村 夏葵 |
| 函館市本通小  | 1年 | 阿部 夏季 | 札幌市福住小  | 1年 | 及川 史祥 | <b>奨励賞(小高)</b> |    |       |
| 函館市本通小  | 1年 | 小笠原瑞樹 | 岩見沢市栗沢小 | 2年 | 佐藤 紗花 | 札幌市福住小         | 5年 | 鈴木俊太郎 |
| 函館市本通小  | 3年 | 武田 悠羽 | 函館市高盛小  | 2年 | 池田さくら | 旭川市神楽小         | 6年 | 小野 瑞貴 |
| 函館市高盛小  | 2年 | 岩川 琉空 | 札幌市本郷小  | 1年 | 中川愛華音 | <b>奨励賞(中学)</b> |    |       |
| 札幌市福住小  | 1年 | 福井 心花 | 札幌市本郷小  | 1年 | 木南 愛菜 | 東川町東川中         | 2年 | 大城 里奈 |
| 札幌市福住小  | 1年 | 近藤 優珠 | 網走市潮見小  | 1年 | 千葉 汐音 | <b>奨励賞(高校)</b> |    |       |
| 札幌市福住小  | 1年 | 今井 舞佳 | 札幌市本郷小  | 1年 | 中岡 空馬 | 小樽高等支援         | 3年 | 野田 瑞絵 |
|         |    |       | 札幌市本郷小  | 1年 | 興村 葵  | 北広島西高          | 1年 | 中野 彩音 |

### 第25回読書感想画中央コンクール・第1回全道コンクール [総評]

## 感動をのびのびと独創的に

審査委員 札幌市立旭小学校 校長 稲 實 順

北海道の子どもたちが、その生活の中で豊かな読書を体験してたくましい精神力や優しい心を育み、読書から受ける感動を絵に表現することを目的とした「第25回読書感想画中央コンクール・第1回全道コンクール」に素敵な作品が数多く集まりました。

今年は、全道各地の小学校から高等学校まで、348点の力作が寄せられ、厳正に審査を行いました。審査のポイントは、読書感想画中央コンクールの審査基準をもとに次のように設定しました。①「募集要項にあるか」②「発達段階に応じた適切な本を選んでいるか」③「読書の感動が表現されているか」④「作品の語っているものや、著者の論旨を的確にとらえているか」⑤「発達段階に応じた読書の感想が表現されているか」⑥「発達段階に応じた適切ですぐれた表現であるか」⑦「独創的で個性的な表現であるか」⑧「自分の力量で描いているか」です。

審査を終えて、小学校低学年の作品は、本を読んで感じたことを感じたままにのびのびと描かれており、子どもの思い(お話)が楽しい線やいろいろな色で楽しく伝わってきました。また、表したいことを自分らしい見方や考え方で表現した作品も見られました。

小学校高学年の作品は、発達段階を踏まえた技法で自分の思いに近づくように構図やバランスなどの表現を工夫していました。

中学・高等学校の作品は、感動や対象への思いや満足感などが、構図や色彩を通し細かく丁寧に表現され、客観的に描かれているところによさや素晴らしさを感じました。

読書に親しみ、読書から受けた感動を、自分らしい感性や個性を大切にしながら表現して下さった皆さんに感謝いたします。また、今年は3校が学校賞となりました。学校をあげて取り組んでいただいたことにも併せて感謝いたします。

これからも、読書から受ける感動を自分らしい形や色でのびのびと表現された力作が増えていくことを願っています。



## 第46回 北海道学校図書館研修講座 平成26年1月5日 かでる2・7

講演「学校図書館の力」～『はだしのゲン』が提起した学校図書館の課題～

講師：元藤女子大学教授 渡邊重夫

講師紹介 (北海道学校図書館協会長 浦田日出雄)

渡邊先生は、高等学校長・大学教授等を歴任されるかたわら、学校図書館活用の重要性や「人」(司書教諭・学校司書など)の問題について、長年にわたり著書や講演等で訴え続けてこられました。これまでも、北海道学校図書館研修講座では、「レファレンス実習」講座の講師をお勤めいただきました。今後も当協会顧問として様々なご助言をいただくこととなりますが、今回は講演をいただくことになりました。

### 1. 『はだしのゲン』問題の経緯

『はだしのゲン』が閉架に。原爆と戦争の悲惨さを描いた『はだしのゲン』(中沢啓治)

の描写が「過激」として、松江市教育委員会は、「閉架」措置を取るよう市内の全小中学校に求めていた。2013年8月16日、山陰地方にエリアをもつ『山陰中央新報』が第1報を報じた。同紙の報道によると、2012年8月、市民から市議会に出された『はだしのゲン』の撤去陳情(市議会では不採択)を契機に、市教委事務局が「閉架」を校長に要請したという(同年12月)。

この報道を機に、この措置は全国的に新聞・テレビ等で報ぜられることとなる。市教委への問い合わせ電話がやまないなか、市教委は、「閉架要請」に関する校長対象のアンケートも実施、閉架の見直を求める声が半数に達した。その後市教委は、教育委員会会議を開催、市教委事務局がこの会議に諮ることなく閉架措置を決めたことは「手続き不備」であるとして、閉架要請の「撤回」を決定し、問題は一応の終結をみた。しかし、この問題は、学校図書館を考える際に大きな課題を残した。



### 2. 資料の収集・提供に対する学校図書館の「自立性」「自主性」

『ゲン』の提供制限に関し、全国学校図書館協議会は、「『はだしのゲン』の利用制限等に対する声明」(2013-9-2)を発表した。①. 制限措置は児童生徒の情報アクセス権を考慮しなかった、②. 教育委員会が、学校の判断を越えて制限措置を求めた、③. 学校図書館の機能及び専門性に対する理解が欠如していた、との観点から、今回の措置を「深く憂慮する」との見解である。

図書館は、国民(住民)の知る権利を保障する社会的装置である。こうした要件が、実質的に保障されるためには、

- (1) 図書館は質・量ともに豊かな資料を収集・保存し提供すること、そのためには、図書館資料の収集・提供に対し、個人・組織・団体からの圧力や干渉を排除する、すなわち、図書館の主体性が確保されること。
- (2) 図書館利用者のプライバシーが守られること。このことが守られなければ、図書館資料へのアクセスは困難になる。
- (3) 検閲の禁止が確保されること。検閲は、社会的な情報の自由な流れを遮断することであり、そのことは図書館資料の収集領域の抑制へとつながる。

今回の『ゲン』の提供制限は、教育委員会という行政機関の「要請」によって行なわれた。先の全国学校図書館協議会の「声明」では、『ユネスコ・国際図書館連盟共同学校図書館宣言1999年』の次の部分を引用して、今回の措置に懸念を表明している。

「学校図書館の使命として、「学校図書館のサービスや蔵書の利用は、国際連合世界人権・自由宣言に基づくものであり、いかなる種類の思想的、政治的、あるいは宗教的な検閲にも、また商業的な圧力にも屈してはならない」。

そして「学校図書館憲章」(1991年)でも、「学校図書館は、資料の収集や提供を主体的に行い、児童生徒の学ぶ権利・知る権利を保障する」ことを規定している。学校図書館資料の収集・提供に対する学校(図書館)の自立性、自主性確保の重要性の指摘である。

### 3. 「批判的精神」を育て、「自発的学習」を支える学校図書館——誕生の「思い」

学校図書館は、戦後教育の思潮としての「新教育」を母体としている。文部省が戦後教育の指針として発表した『新教育指針』(1946年)には、戦前の日本の社会組織の欠点として、政府が言論や思想の自由などを無視して秘密警察や拷問を行い、その結果国民は政治を批判する力を失ってしまったと指摘している。それだけに、戦後の教育は、「教師が教えるところに生徒が無批判的に従うのではなく、生徒が自ら考え自ら判断し、自由な意思をもって自ら真実と信ずる道を進むようにしつけることが大切だ」と指摘している。

また、学校図書館法が衆議院に提案された時(1953年)の提案理由に、「教育の指導理念の第一は、児童生徒の個性の尊重、自発的学習の育成」であり、そのためには、「従来の画一的教育を転換し、児童生徒の自発的学習形態」をとることが大切であり、そのために「学校図書館の設置は、当然必要不可欠なもの」であり、「学校図書館の設備なくしては、新教育の十分なる効果が期待し得ない」と述べられていた。



### 4. 学校図書館資料の「人」「組織」

『ゲン』問題を通じて、学校図書館資料の収集・提供という学校図書館の基本的任務を誰が担うのかということが問われた。こうした論議を通じて改めて、次のことが明らかにされた。

(a) 学校図書館資料の収集・提供は、個々の学校が担う。

(b) そのためには、「学校図書館の専門的職務を掌る」(学校図書館法第5条) 司書教諭、そして学校司書の役割とその身分保障が大切である。

### 最後に — 「自己規制」に陥らない —

このような問題が起きたとき大事なことは、(1) 学校図書館の意義を十分に理解する、(2) 教育と社会の動向は密接不可分の関係にある、そうした動向を常に把握する、(3) 「自主規制」に陥らない、(4) そのためにも、不断の研修を続け、実践を積み重ねる、(5) 学校図書館の研究団体が、問題の所在をしっかりと把握し対応すること、である。そして、何よりも「仲間とともに、仲間を信じて」仕事にあたることだと思ふ。



## 北海道学校図書館研修講座に参加して

札幌聖心女子学院中学校・高等学校 教諭 松原 今日子

今回の研修講座では、日頃授業で行っていることを「実践報告」という形で発表させていただきました。発表を終えて今改めて思うことは、やはり「教諭と司書の連携の重要性」という一言に尽きるかと思えます。学校図書館を利用した授業を講義型、またゼミナール形式で行うにしても、そこには何らかの学習活動の目的があり、その学習を通じての生徒の理想像が必ずあります。それを図書館の司書の先生と共有していくことが何より重要だと感じています。必要な書籍の内容や冊数、生徒にどのようなことをさせたいのか、どのように評価していくのか。情報交換の内容は多岐にわたりますが、日々の何気ない会話の中でそれらの情報交換ができていくことが理想であろうと思います。しかし、毎日の校務の中で、後回しになってしまうことも多々あるのですが。

大切だと思いつつも、ついつい日々の忙しさを理由にして後回しにしていること。これを今、行動に移す時期であると自覚する機会を与えられました。また、自分の授業は司書の先生をはじめとして、いかに多くの方々に支えられているか。この当たり前のことにも改めて思いをはせ、感謝の気持ちを持つことができたのも、今回発表の機会をいただいたことが大きいと思います。

もともと学校図書館には不思議な力があると感じていました。生徒にとって図書館とは知識を得るのみならず、世界の広さや新しい価値観を知る場所でもあり、上級生や下級生との細い、しかしとてもしなやかで強い人間関係の糸を結ぶ場所でもあるようです。

このようなたくさんの魅力にあふれた学校図書館を使って学びを深めていくことは、生徒たちにとってこれからの歩みに少なからず力を与えてくれるものと思います。

この発表をするにあたり、本校司書の先生をはじめ、多くの先生方のお力をお借りし、お支えいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

さて早速、図書館での作業テーマのアイデアを考えていこうと思います。何か物事がわかったときの、花開くような生徒の笑顔を思い浮かべながら。

### 支部だより

#### ～帯広市支部

帯広市支部は、「帯広市公共図書館教育研究会」部員を中心に、帯広図書館と連携し活動しています。

①1月22日に帯広市立帯広第八中学校で、学校図書館クリニックを行いました。帯広図書館司書の方や図書館ボランティアの方のご協力により、使いやすく整理されました。

②10月10日に帯広市立啓成小学校で図書ボランティアの方との交流会を実施しました。図書ボランティアの方が実践されている読みきかせや本の展示の仕方などについて話を聞きました。読んでみて、自分たちが面白いと感じた本を読み聞かせに使用していることや図書室に季節の飾りつけをして読書環境を整えていることなど参考になる話をたくさん聞くことができました。

③読書感想文コンクールの募集・審査では、特別賞・優秀賞に入選した児童生徒が、11月23日に帯広図書館で表彰されました。

④12月10日に帯広市立広野小学校で、研究授業（授業者：中塚祥子先生）が行われました。単元は「本の世界を広げて読む」でした。ビブリオバトルの手法を取り入れ、物語のおもしろさを見つけ、友だちに自分の感じた面白さを伝える活動に、子どもたちは意欲的に取り組んでいました。担任の先生の丁寧で分かりやすい指導により、子どもたちに力がついていると感じた素晴らしい授業でした。

今後は、「図書館担当者交流」「実務講習会」「図書委員交流」を実施する予定です。

帯広市支部は、「読書感想文コンクール」「図書館クリニック」「研究授業」「図書委員交流会」など50年以上にわたり実施されてきた活動があります。今後もその活動を大切にしながら部員や帯広市図書館、図書館ボランティアの皆様と連携を深めて、子どもたちのよりよい読書活動や教育の発展のために取り組んでいきたいと思っています。

(文責 帯広市公共図書館研究会事務局長〈帯広市立柏小学校 教諭〉杉林卓)



平成25年度  
第39回

北海道の先生が  
おすすめする本

青少年読書感想文全道コンクール

# 北海道指定図書

小学校  
低学年  
の部



おべんとうさん  
いただきます  
堀川 真/作・絵  
教育画劇  
定価 1,155 円



いっしょだよ  
小寺 卓矢/写真・文  
アリス館  
定価 1,470 円



わたしのいちばん  
あこの1ばん  
アリソン・ウォルチ/作  
パトリス・バートン/絵  
薫くみこ/訳  
ポプラ社  
定価 1,365 円

小学校  
高学年  
の部

オジロワシ  
北国からの動物記 5  
竹田津 実/文・写真  
アリス館  
定価 1,470 円



ホッキョクグマの  
赤ちゃんを育てる!  
円山動物園のわがい  
高橋 うらら/著  
ポプラ社  
定価 1,260 円



夜の学校  
田村 理江/作 佐竹 美保/絵  
文研出版  
定価 1,470 円

小学校  
中学年  
の部

羅生門  
日野 多香子/文  
早川 純子/絵  
金の星社  
定価 1,365 円



ゆきのよあけ  
いまむら あしこ/文  
あべ 弘土/絵  
童心社  
定価 1,400 円



あしたもきっと  
チョウ日和  
高田 桂子/作 亀岡 亜希子/絵  
文芸堂  
定価 1,365 円

中学生  
の部



捨て犬・未来  
命のメッセージ  
東日本大震災・犬たちが避難した学校  
今西 乃子/著 浜田 一男/写真  
岩崎書店  
定価 1,365 円



いっしょに走ろっ!  
夢につながる、はじめの一歩  
星野 恭子/著  
大日本図書  
定価 1,470 円

北海道の本を読みましょう!

第59回 青少年読書感想文全道コンクール  
第39回 北海道指定図書読書感想文コンクール

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。  
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

ホームページ [北海道学校図書館協会](http://www.hokkaido-shugakushokan.jp)

## 学校図書館情報

### ◆平成26年度北海道学校図書館協会 定期総会の開催

- ・日時 平成26年5月10日(土) 14:00～
- ・場所 北海道立道民活動センター (かでの2・7) 1060会議室  
札幌市中央区北2条西7丁目  
各支部の総会参加をよろしくお願いいたします。

### ◆全国学校図書館協議会各県事務局長会議開催

2月6日(木)東京の学校図書館センター(公益社団法人全国学校図書館協議会事務局)にて開催されました。北海道から浦田会長、門前副会長、齋藤事務局長が参加しました。

2014年度活動方針事業計画、予算化運動の展開等の協議と全国SLA発行書籍の普及、学校図書館げんきプロジェクト等についての報告がなされました。更にはSLBAの参加促進について、各県



の特段の協力をお願いしたい旨の説明や、2016年に控えたIASL東京大会の組織委員会の事務局としての立場から、森田理事長の協力要請の説明もありました。

翌日7日(金)午前の国会議員への要請活動では、「学校司書の法制化」「司書教諭の専任化・担当時間の確保、教育委員会による発令」「学校図書館の資料の充実及び学校司書配置の拡充」の三点を中心に、衆参両議員会館へ足を運び、地元である北海道選出議員にお願いをして参りました。

### ◆第59回青少年読書感想文全国コンクール

表彰式 平成26年2月7日(金)東京會館  
北海道からはサントリー奨励賞1名、14名が入選となりました。東京會館での表彰式は、施設改築のため今回で終了となります。記念の次回、第60回表彰式は新たな会場、施設での挙行となります。北海道からも多くの優れた作品が提出されることを期待しております。



## 事務局

事務局長 齋藤 昇一(札幌市立藻岩中学校校長)  
TEL 011-571-6039  
FAX 011-572-3333  
事務局校 札幌市立平和通小学校  
事務局次長 野村 邦重  
〒003-0027 札幌市白石区本通15丁目北3-1  
TEL 011-863-0235 FAX 011-863-0265

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメンティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

### キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15  
TEL (011) 857-3331  
FAX (011) 857-5211

### ◆第39回全国学校図書館研究大会(甲府大会)のお知らせ

- ・日時 平成26年8月6日(水)・7日(木)・8日(金)
- ・会場 山梨学院大学(山梨県甲府市酒折2-4-5)  
山梨県立図書館(山梨県甲府市北口2-8-1)  
コラニー文化ホール<山梨県民文化ホール>  
(山梨県甲府市寿町26-1)
- ・主題 「学びを深め 知を活かす 学校図書館  
～豊かな育ちを支えるために～」
- ・日程、会場(予定)  
1日目【6日】コラニー文化ホール・山梨学院大学  
開会式・全体会・記念講演・分科会①・分科会②  
2日目【7日】山梨学院大学・山梨県立図書館  
分科会③・分科会④・分科会⑤・分科会⑥  
3日目【8日】山梨学院大学・山梨県立図書館  
分科会⑦・分科会⑧・閉会式

※分科会が「研究討議」分科会と「実践活動」分科会に分けられ、参加しやすい大会となります。

### ◆北海道図書館大会のお知らせ

- ・日時 平成26年9月4日(木)・5日(金)
- ・会場 北星学園大学B館
- ・基調講演講師 未定

### ◆第37回北海道子どもの本の集いのお知らせ

- ・日時 2014年7月20・21日
- ・会場 岩見沢市「ホテルサンプラザ」「生涯学習センター(いわなび)」
- ・メインテーマ 「すべての子らに本の楽しさを」
- ・基調講演 児童文学者 あまん きみこさん
- ・主催 北海道子どもの本連絡会

※上記大会等の詳細についてはそれぞれの関係HPをご覧ください。

## 編集後記

春の訪れが待ち遠しい季節となりました。今年度開催された第1回読書感想画全道コンクールへは全道各地から多くの応募がありました。来年度もさらに充実したものといたしますよう、関係各位のご協力をよろしくお願いいたします。

編集：杉本 操 村山 知成 野村 邦重  
大久保雅人 齋藤 昇一

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>